

は し が き

本書は「大学入学共通テスト」を主とする客観式問題対策用の問題集として編集されたものである。

大学入学共通テスト（以下、共通テスト）は、センター試験の後継として実施されているが、現代文においては、センター試験を踏襲しつつ、新たな傾向として、複数の題材を関連づけて理解・解答する問が出題されている。つまり、一つの文章の理解を前提にして解答させる問題と、複数の題材を関連づけて解答させる問題が出題されている。題材の種類としては、文章のほかに統計資料や図表、また、それらの内容を理解するために生徒が作成したとされるノート・メモや、生徒同士が話し合ったとされる会話文などもある。

したがって、単一の文書を読み解く力と、それを前提に「複数の題材」を関連づけて理解する力をあわせて養成していく必要があるだろう。

【本書の構成】

共通テストでも他の入試においても一つの文章の正確な読解が前提となるので、一つの文章からすべての問いが出題されている問題と、共通テストの出題傾向を踏まえて、複数の素材を関連づけて解答する問いを含む問題を収録している。

第一部は、共通テスト第1問などの対策として論理的な文章（評論文）を中心とした問題6題を収録している。

第二部は、共通テスト第2問などの対策として文学的な文章（小説）を中心とした問題6題を収録している。

第三部は、共通テスト第3問などの対策の導入として実用的な文章（図表等を含む文章）を中心とした問題4題を収録している。

【学習対策】

共通テストのような客観式問題に対処するために大切なのは、以下の三点である。

- ① 問題文を正確に理解すること。
- ② 根拠となる箇所を的確に踏まえること。
- ③ 各選択肢の正否の判断をすること。

① について。問題文が正確に理解できたか否かは、根拠となる箇所が的確に踏まえられたか否か
②、各選択肢の正否が的確に判断できたか ③ によって測ることができる。本書の〔解答・解説編〕の本文解説には、ここまで理解できればよいという内容が示してある。とくに第一部・第三部の論理的（あるいは実用的）な文章の解説では、理解してほしい内容を図にまとめた。これらを参照して、自分がどの程度文書を理解できたのかを確認してほしい。

② について。根拠とは出題者が正解の選択肢を作成するときに踏まえるにちがいない箇所のことである。一つの文章の範囲で出題された問いなら、その文章の中だけに根拠を探ればよいが、共通テストでは二つの文章（題材）の中に根拠を探る問題も出題されている。本書の〔解答・解説編〕の設問解説には、設問ごとにどこが根拠であるかということが示してある。そこを参照して、自分が根拠を正確に踏まえられたか否かを確認してほしい。

③について。根拠の箇所が的確に踏まえられたからといって、直ちに正解に到達できるわけではない。判断に迷う紛らわしい選択肢が用意されている場合もあるからである。選択肢の正否を判断する場合に決め手になるのは、やはり問題文の理解である。本書の〔解答・解説編〕の設問解説には、選択肢ごとにどこが不適当かということが示してある。そこを参照して自分の判断が的確であったか否かを確認してほしい。

共通テストをはじめとする現代文の問題では、読解力を問う問題以外に、漢字などの知識問題が出題されることもある。また、語句の意味などの知識を身につけることは、本文を読解するうえでも重要である。日頃から漢字や語句の意味を覚えるように努力してほしい。

また、文芸用語や表現技法などの知識が問われる可能性もある。〔解答・解説編〕の巻末に「文芸用語・表現技法の一覧」を掲載しておいたので、折を見て参照し、ぜひ覚えるように努めてほしい。

目次

第一部 論理的な文章

問題編 解答編

第1問 三浦雅士「考える身体」……………10……………2

第2問 長谷正人「映画観客の『笑い』と機械的反復」……………20……………11

第3問 佐々木健一「日本の感性」・九鬼周造「祇園の枝垂桜」……………30……………21

第4問 内田樹「呪いの時代」・酒井邦嘉「科学者という仕事」……………41……………32

第5問 野家啓一「歴史を哲学する」・斉藤孝「歴史と歴史学」……………56……………44

第6問 三浦佳世「視線の構造」……………70……………56

第二部 文学的な文章

第1問 高橋昌男「夏草の匂い」……………82……………66

第2問	岡本かの子「蔦の門」……………	92	72
-----	-----------------	----	----

第3問	遠藤周作「異郷の友」・上総英郎の解説文……………	101	77
-----	--------------------------	-----	----

第4問	幸田文「おとうと」・正岡子規「病牀六尺」……………	115	84
-----	---------------------------	-----	----

第5問	江國香織「泳ぐのに、安全でも適切でもありません」・「あとがき」……………	128	94
-----	--------------------------------------	-----	----

第6問	大岡昇平「歩哨の眼について」……………	142	104
-----	---------------------	-----	-----

第三部 実用的な文章（図表資料等を含む文章）

第1問	上岡義雄「神になる科学者たち」・新聞記事「現代医療としての漢方」……………	156	114
-----	---------------------------------------	-----	-----

第2問	土井隆義「宿命を生きる若者たち」……………	168	123
-----	-----------------------	-----	-----

第3問	広田照幸「教育言説の歴史社会学」……………	181	134
-----	-----------------------	-----	-----

第4問	松井正「新聞」……………	194	145
-----	--------------	-----	-----